

書あり 師あり 友ありて



図書室から見える明石海峡大橋

読書活動について

学校長 平田 高之

明石市では、「本のまち」として、図書の貸出 300 万冊を目標に
○いつでも ○どこでも ○誰でも手を伸ばせば本に届くまちづくり
を進め、駅前の再開発ビルに、「あかし市民図書館」を 2017 年 1 月 27 日に開館し、移動図書館を新しくして巡回する等をしてきました。

本校においては、図書館司書による図書室の開架の工夫や生徒への呼びかけ、図書委員会を中心に図書だよりやお薦めの本の紹介等、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、図書室の利用促進の取組を進めています。



図書室入ってすぐのところの書架



2020 年度に購入された図書



教員・図書委員が前に出て全員で朝読書

また、本校では朝読書にも大変力を入れています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の臨時休業による授業時間数確保により45分7校時設定としたため、やむなく取りやめていましたが、本年度は4月当初より再開しました。

子どもたちの不読が課題となり、朝読書は今では市内すべての中学校で取り組んでいますが、近藤前校長が市内の中学校で生徒指導担当をされていた時に、生徒たちが落ち着いた学校生活を過ごすことができるよう、他府県まで視察に行かれ始めたのが、本市の朝読書のスタートとなっています！

「みんなで読む 毎日読む 好きな本でよい ただ読むだけ」

の朝読書4原則のもと、教員も一緒になって読書に取り組んでおり、とても落ち着いた雰囲気の中で、1時間目の授業につながることができています。生徒が誰もいないのかというくらい静寂な時間が流れています！さらに、給食の配膳準備を待っている時間に本を読んでいる生徒も多くいます。また、お子様と今読んでいる本等の会話につなげて頂けたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

教育環境整備について

生徒の皆さんが快適に学校生活を送れ、学習に集中できる教育環境を整備することは私たちの大きな役割の一つですが、ハード面の充実は、なかなか要望しても実現しにくいものでもあります。しかしながら、本市は「子どもを核としたまちづくり」ということで、教育の充実を重要施策として取り組んできました。

そのお陰で、普通教室のエアコン及びエレベーターの設置、トイレの洋式化、南校舎の屋根及び外壁が改修され、昨年度は特別教室へのエアコン設置に加え、一人一台のタブレット端末及び大容量高速通信が整備(GIGAスクール構想)され、かなり教育環境が充実してまいりました。全学年タブレット端末の使い方のオリエンテーションを実施したうえで、各教科で活用していきませんが、すでに活用している教科もあります。



また、新型コロナウイルス感染症対策として、各教室に手指消毒液及び空気清浄機の設置に加え、本年度は夏の熱中症対策も考慮しサーキュレーターを購入する予定です。



本館西側エレベーター



本館1階トイレ



本館1階バリアフリートイレ

私が昔勤めていたころでは考えられない快適なトイレです！バリアフリー化やこのような大きな鏡があって、そこで自分の姿を見て意識することは、とても大切であると同時に、生徒たちにはきれいに使い続け、後輩につなげていけるよう清掃にしっかり取り組んでほしいと願っています。

玄関前芝生もとても緑が鮮やかで本校の自慢の一つですが、本校用務員が1年中世話をしています。生徒たちが下校前に話をしている、剣道・バレー部等が練習している風景を見かけます。また、この月曜日には、吹奏楽部が新入生歓迎演奏会をしていました。

